



久留米市美術館

とき・ひと・美をむすぶ

市美術館のイベントや所蔵作品を紹介します。

美術と音楽をつなぐ ミュージアムコンサート

市美術館の長谷川利行展に併せて、作品や画家にちなんだ曲を演奏するミュージアムコンサートを開催します。

【箏、マリンバ、バイオリンが奏でる 和と洋の響き】

■日時 10月12日(金) 14時～ ■会場 石橋文化ホール ■内容 箏・みやざき都、マリンバ・田代佳代子、バイオリン・工藤真菜 ■料金 1,000円、65歳以上700円、大学生500円、高校生以下無料。コンサートのチケット提示で、当日美術館の入館が無料

◎石橋文化センター

(☎ 0942・33・2271、FAX 0942・39・7837)

前回の様子



「長谷川利行展」9月22日(土)～11月4日(日)



子どもたちと、まちと、文化の明日を元気にする

久留米シティプラザ



シティプラザの主催・提携イベントを紹介します。

■会場 六角堂広場など ■対象 高校生以上。未成年者は保護者の同意が必要 ■申込期間 10月1日(月)～11月16日(金)

◎シティプラザ

(☎ 0942・36・3000、FAX 0942・36・3087)

飛ぶ劇場 vol.40

わたしの黒い電話

■日時 来年2月9日(土) 18時～、10日(日) 14時～ ■会場 Cボックス ■内容 北九州で活動している飛ぶ劇場の新作公演 ■料金 2,800円、学生1,800円、高校生以下1,000円、当日は200円増し ■一般発売 10月6日(土) 10時～シティプラザ窓口・ホームページ、各プレイガイドなど。学生は当日学生と確認できる物が必要

◎飛ぶ劇場 (☎FAX 093・372・0299)

MICE 情報

※ MICE (マイス) とは、多くの集客・交流が見込まれる会議 (Meeting)、研修旅行 (Incentive Travel)、学会や国際会議 (Convention)、展示会や見本市 (Exhibition/Event) の頭文字を取った言葉です

シティプラザで開催される MICE を紹介します。

◎ 9月26日(水)～28日(金)・第60回天然有機化合物討論会 (関係者のみ)

◎ 同実行委員会 (☎ http://www.tennenyuuki.ne.jp/)

◎ 10月6日(土)、7日(日)・第22回血液透析技術基礎セミナー(久留米会場) (関係者のみ)

◎ 一般社団法人日本血液浄化技術学会 (☎ https://jyouka.com/BasicSemiForm/basic_sem.php)

ポンプ車や救急車など計10台を配備



新たな機能を備えて 三漕消防署の新庁舎が完成しました。旧庁舎の老朽化に伴う建て替えで、所在地や出動区域などの変更は無く、城島町と三漕町、大木町を管轄します。新庁舎は旧庁舎の約1.5倍の広さ。救急車を丸ごと滅菌できる消毒室や、女性隊員の浴室や仮眠室を新設。訓練棟は、煙を充満させ、火災現場を想定した訓練ができます。大規模災害時は、他県の緊急消防援

施設概要

【所在地】城島町江上上165の1
【構造】■庁舎棟・鉄筋コンクリート造2階建て ■車庫棟・鉄骨造2階建て ■訓練棟・鉄筋コンクリート造2階建て
【延床面積】1681.17㎡
◎久留米広域消防本部総務課 (☎ 0942・338・5157、FAX 0942・338・5172)



8月30日に行われた開庁式でのテープカット

三漕消防署新庁舎が完成 災害時の広域活動拠点に

有馬記念館企画展 大名有馬家臣団Ⅲ

久留米藩の幕末維新

9月29日(土)～ 来年1月7日(月)

激動の時代を生きた久留米藩士たち

シリーズ企画「大名有馬家臣団」の第3弾は、明治維新から150年の節目に合わせて、久留米の幕末維新をテーマに開催。久留米藩の幕末志士や、戊辰戦争に参加した藩兵にまつわる歴史資料を通して、激動の時代を紹介します。

■日時 9月29日(土)から来年1月7日(月)までの10時～17時、入館は16時30分まで。火曜、12月28日(金)～1月1日(祝)は休館 ■料金 200円、高校生以下無料。15人以上団体割引あり

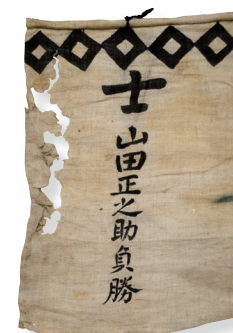
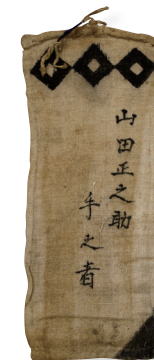
◎文化財保護課 (☎ 0942・30・9323、FAX 0942・30・9714)



▲可児鍋喜久ガラス写真 戊辰戦争に従軍した、可児鍋喜久。東京へ出陣する前に撮影し、両親に送った。当時16歳。



▲ル・フォショウ六連発レボルバー 可児鍋喜久の家に伝わった拳銃。



▲山田正之助手之者肩章(左) 山田正之助貞勝肩章(右) 久留米藩士山田貞勝とその従者の肩章。有馬家の家紋の一つ「釘抜紋(くぎぬきもん)」で久留米藩に属することを示している。



▲絵はがき「戊辰役従軍兵士」 戊辰戦争に出兵した若者たち。右から二番目の山本常五郎(常寛)は、富豪の商家出身で、父と共に拳銃を製造。その一丁を携え従軍した。

展示資料は全て市教育委員会所蔵